

**2022年度**

**児童・少年の健全育成助成 生き生きシニア活動顕彰  
助成・顕彰団体決定**

今年度は全国で265団体・1億2,878万円の児童・少年の健全育成助成と  
205団体・1,025万円の生き生きシニア活動顕彰を実施します。  
財団設立からの累計(1979年~2022年)は、17,206団体・90億円になります。

兵庫県では、児童・少年の健全育成助成

日本ボーイスカウト兵庫連盟 神戸第53団 はじめ 9 団体が  
決定いたしました。

生き生きシニア活動顕彰 5団体 が決定いたしました。

1979年の助成開始から44年の累計は

兵庫県内 594団体 2億9,523万円 となりました。

2022年6月

公益財団法人 日本生命財団

この件に関するお問い合わせ先

〒541-0042 大阪府中央区今橋3-1-7

日本生命財団 助成事業部

TEL: 06 (6204) 4014

FAX: 06 (6204) 0120

日本生命財団は、日本生命保険相互会社が創業90周年を迎えるに当り、より継続的かつ普遍的な社会貢献を行うため1979年に設立された助成型財団です。

以来「人間性・文化性あふれる真に豊かな社会の建設に資すること」を目的として、児童・少年の健全な育成、高齢社会福祉、環境問題などの分野を中心に助成活動を行っております。

ホームページ <http://nihonseimei-zaidan.or.jp>

## 兵庫県への助成累計は594団体——2億 9,523万円になりました

日本生命財団は、1979年の設立以来、児童・少年の健全育成に取り組んでいる団体に対して、活動に必要な物品を助成してまいりました。

児童・少年の健全育成助成  
今年度は9団体に415万円を助成

また、元気で活力に満ちた高齢者が主体となって地域貢献活動を行う団体を顕彰しております。

生き生きシニア活動顕彰  
今年度は5団体を顕彰

～助成・顕彰団体への目録贈呈式を全国の都道府県で開催～

目録贈呈式を次のとおり開催いたします。

日時	6月15日(水) 午後1時～
場所	兵庫県公館 3階 第一会議室
出席者	受贈者：14団体  兵庫県：副知事 片山 安孝 様  財 団：日本生命常務執行役員 高田 保豊 コーポレート・コミュニケーション部長 日本生命神戸支社長 室 兼寛 理事長 甲斐 啓史

2022年度  
ニッセイ財団  
児童・少年の健全育成助成の概要

未来をになう子どもたちが、心ゆたかに成長することをめざして

日本生命財団は、1979年7月の設立以来、人間性・文化性あふれる真に豊かな社会の建設に資することを目的として活動しております。  
児童・少年の健全育成には、地域社会を構成する住民や諸組織が手を携え、地域活動の一環として、子どもたちの生きる力を育てていくことが必要です。  
このような活動に定期的かつ日常的に継続して取り組んでいる民間の団体・グループに対して、その活動に常時・直接必要な物品を助成しております。

おかげさまで財団設立以来44年継続して、全国1万4千を超える団体に助成

児童・少年の健全育成助成は、全国都道府県知事から推薦いただいた団体について、当財団の選考委員会・理事会にて決定いたします。  
助成金額は、1団体30万円～60万円です。  
助成物品は、助成対象活動を継続的に展開するためになくはない直接活用物品で、子どもたちが待ち望み、子どもたち自らが主体的・継続的に共有して活用する物品としております。

- ◆2022年度は、全国各地の265団体に総額1億2,878万円の助成を行います。
- ◆財団設立から44年の累計実績は、1万4千団体・88億円を超えております。

子どもたちの生きる力を育むさまざまな活動を応援

次のような活動を行っている団体に助成いたします。

<2022年度助成265団体の内訳>

「異年齢・異世代交流活動」	148団体
「自然と親しむ活動」	54団体
「子育て支援活動」	35団体
「療育支援活動」	22団体
「フリースクール活動」	6団体

情報誌「Fumi」の発行

当助成が多くの方々のお役に立つことを願い、助成制度の概要とあわせ、対象団体の活動内容および助成物品の活用事例などをご紹介します情報誌「Fumi」を発行しています。

\*当財団のホームページでPDF版をご覧ください。

以上

2022年度  
ニッセイ財団  
生き生きシニア活動顕彰の概要

元気で活力に満ちた高齢者の地域貢献活動に対して

わが国は少子高齢社会を迎えており、元気で活力に満ちた高齢者の地域貢献活動が注目されております。

日本生命財団では、高齢者が主体となつて行う地域貢献活動を顕彰し、地域活動の輪を広げてまいります。

2007年の制度発足からこれまでに3,031団体を顕彰

生き生きシニア活動顕彰は、全国都道府県知事から推薦いただいた団体について、当財団の選考委員会・理事会にて決定いたします。

児童・少年の健全育成活動、地域づくり活動、高齢者支援活動、障がい者支援活動などの高齢者による“生き生きシニア活動”に取り組む民間の団体・グループに対して、1団体5万円の顕彰を行います。

- ◆2022年度は、全国各地の205団体に1,025万円の顕彰を行います。
- ◆2007年の制度発足からの累計実績は、3,031団体・15,155万円となっております。

さまざまな“生き生きシニア活動”を応援

次のような活動を行っている団体を顕彰いたします。

<2022年度顕彰205団体の内訳>

「地域づくり活動」	79団体（環境保護活動、健康増進活動等）
「高齢者支援活動」	70団体（高齢者向けサロン、訪問ボランティア等）
「児童・少年の健全育成活動」	45団体（登下校時見守り活動、伝承芸能の継承等）
「障がい者支援活動」	11団体（手話・点訳・朗読ボランティア活動等）

情報誌「F u - m i」の発行

当顕彰が多くの方々のお役に立つことを願い、顕彰制度の概要とあわせ、対象団体の活動内容などをご紹介する情報誌「F u - m i」を発行しています。

\*当財団のホームページでPDF版をご覧ください。

# 2022年度 ニッセイ財団 児童・少年の健全育成助成 決定団体一覧

28

兵庫県

コード	団体名 活動の内容	助成内容	助成額 (千円)
2801	日本ボーイスカウト兵庫連盟 神戸第53団	キャンプ用テント	350
I-1	野外活動・自然体験活動等を通しての児童の健全育成		
2802	日本ボーイスカウト兵庫連盟 西宮第22団	キャンプ用テント	480
I-1	野外活動・自然体験活動等を通しての児童の健全育成		
2803	若王寺子ども食堂の会	子ども用遊具一式	340
III-6	児童・少年の居場所づくり支援、子ども食堂、学習支援(フリースクールを除く)		
2804	北条野球スポーツ少年団	野球用具一式	500
II-13	地域に根ざしたスポーツ活動(武道を除く)を通しての児童の健全育成		
2805	富田少年野球団	ピッチングマシン	510
II-13	地域に根ざしたスポーツ活動(武道を除く)を通しての児童の健全育成		
2806	NPO法人姫路YMCA	木製遊具	510
I-1	野外活動・自然体験活動等を通しての児童の健全育成		
2807	大久保剣道教室	剣道防具一式	590
II-12	武道(剣道・柔道等)を通しての児童の健全育成		
2808	若龍柔友会	柔道用具一式	420
II-12	武道(剣道・柔道等)を通しての児童の健全育成		
2809	矢野スポーツクラブ矢野川	野球用具一式	450
II-13	地域に根ざしたスポーツ活動(武道を除く)を通しての児童の健全育成		

合計                      助成件数                      9 件                      助成決定額合計                      4150 千円

# 2022年度 ニッセイ財団 生き生きシニア活動顕彰 決定団体一覧

28 兵庫県

コード	団体名 活動の内容	顕彰内容	顕彰額 (千円)
2851	兵庫県健康生きがいづくり協議会 IV-2 健康増進活動	活動顕彰	50
2852	宝塚エコネット IV-3 環境美化・清掃・環境保護活動	活動顕彰	50
2853	特定非営利活動法人北播磨生活応援団 III-3 その他高齢者支援活動	活動顕彰	50
2854	原自治会愛育いきいきサロン III-1 高齢者の居場所(サロン)づくり	活動顕彰	50
2855	揖保町老人クラブ連合会 I-5 その他児童・少年の健全育成活動	活動顕彰	50

合計 助成件数 5 件 助成決定額合計 250 千円